



トルリシティ® 皮下注 0.75mg アテオス® 使い方ガイド

週1回、すぐに使える専用のペンで、血糖をコントロール

[監修]

新潟薬科大学薬学部
臨床薬学研究室 教授
朝倉 俊成 先生

横浜市立大学大学院医学研究科
分子内分泌・糖尿病内科学 教授
寺内 康夫 先生



【重要】医療従事者の皆様へ

本冊子は、トルリシティ皮下注0.75mgアテオスを使用される患者さんにお渡しください。

薬液

トルリシティ

ペン

アテオス

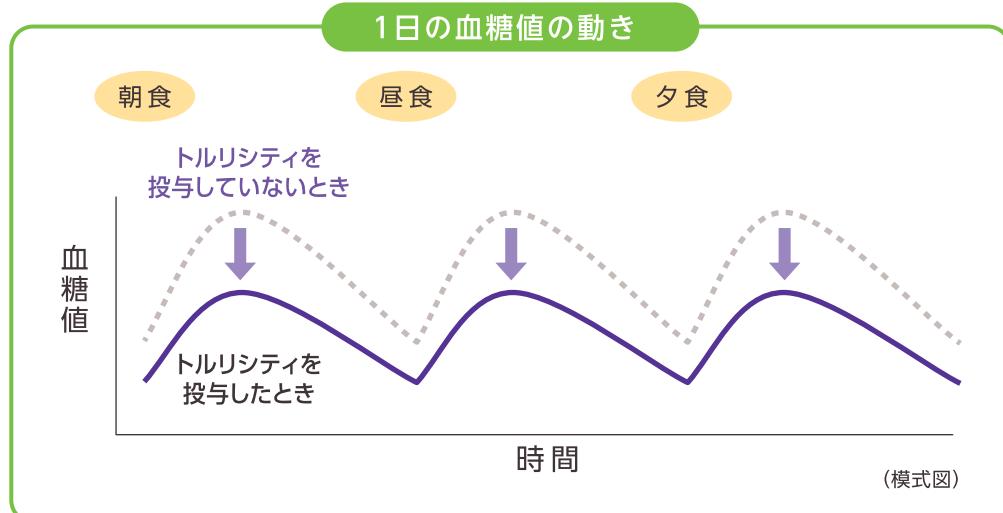
血糖コントロールをはじめましょう。

トルリシティは、

2型糖尿病患者さんのためにつくられた血糖値を下げる薬です。
その効果は、1回の投与で1週間続きます。

- 例えば、日曜日*にトルリシティを投与すると…

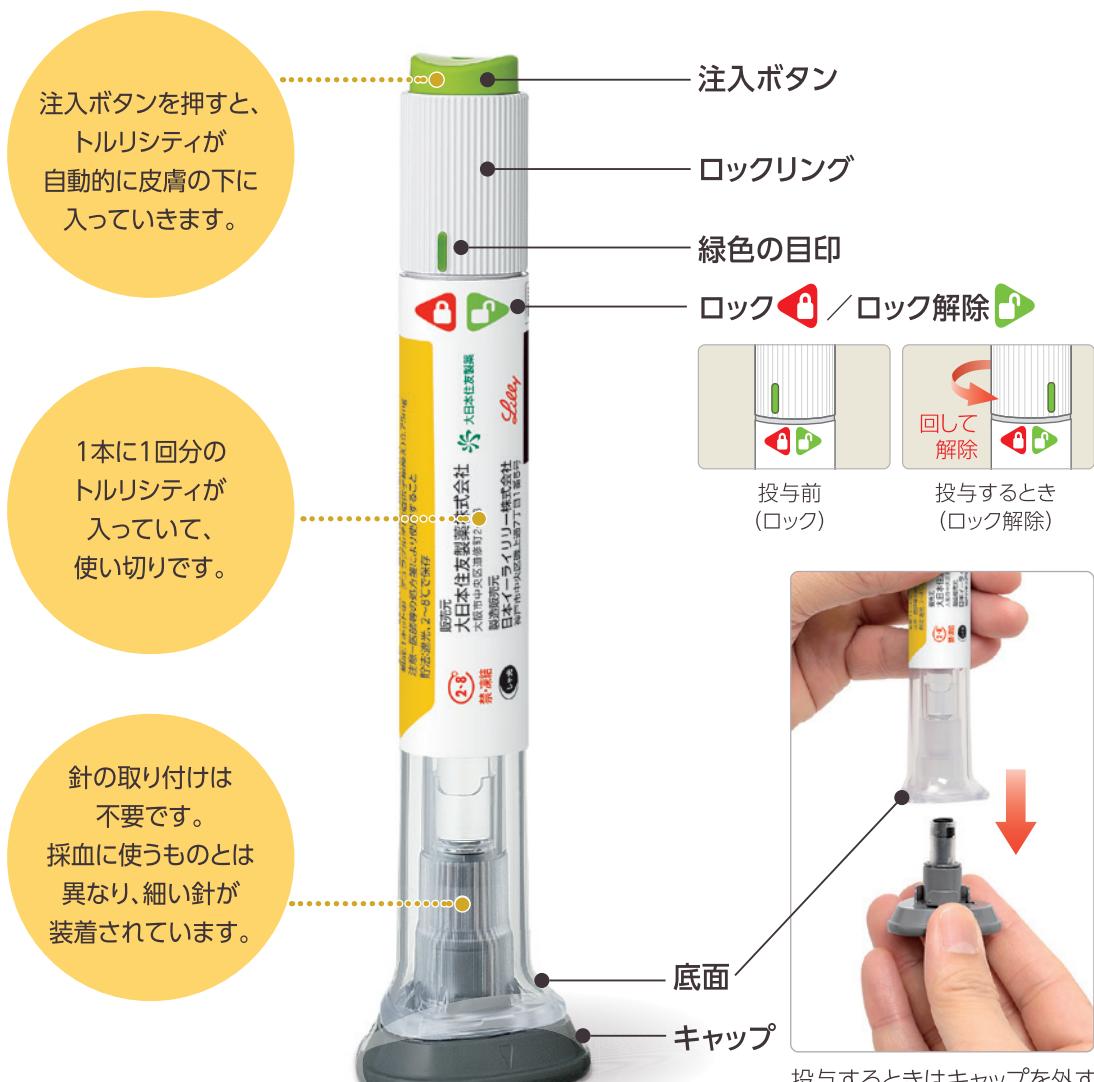
*トルリシティは、毎週同じ曜日に投与してください。



トルリシティは、
すぐに使って、操作が簡単なアテオス*という専用ペンで、
1週間に1回投与します。

*アテオスの名称は、「あてて、押す」という使い方に由来しています。

アテオスの使い方は次のページをご覧ください



GOOD DESIGN AWARD 2015
グッドデザイン金賞

アテオスは、2015年度のグッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）を受賞しました。



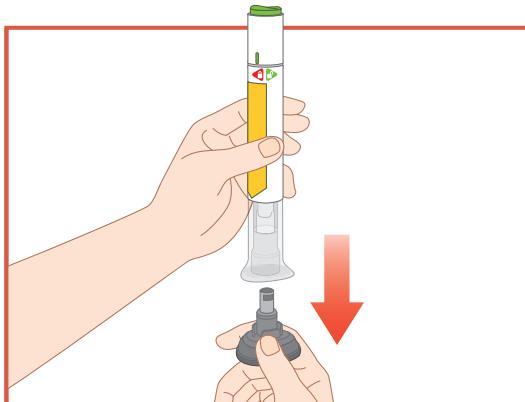
アテオスの使い方

アテオスは針の取り付け、薬を混ぜるなどの準備操作は3つのステップです。

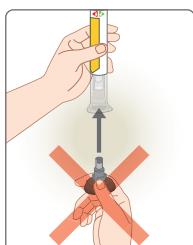
(使い方の詳細は、取扱説明書をご覧ください)

1

キャップを
はずす



取り外したキャップはす
ぐに捨ててください。
はめ直すと針が破損する
ことがあります。



はめ直さない

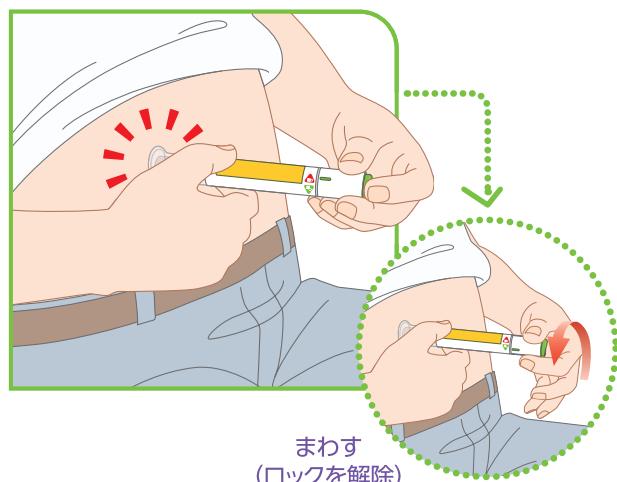
- 最初に、アテオスがロックされていることを確認します。ロックされているときは、緑色の目印 がロック の位置にあります。



- 灰色のキャップを取り外します。

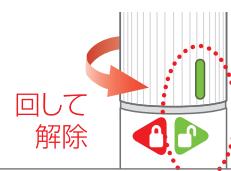
2

底面を皮膚に
あてて、



- 透明な底面を皮膚にしっかりとあてたまま、緑色の目印 をロック解除 の位置に合わせ、ロックを解除します。

ロック解除

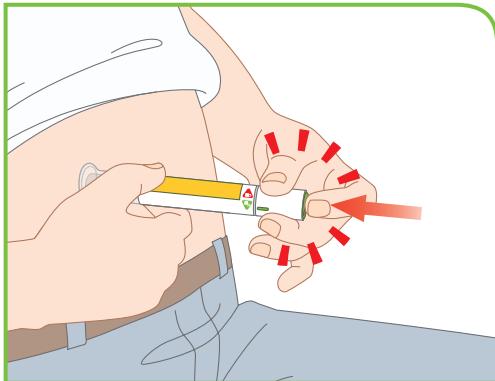


- 皮膚に対してアテオスを垂直にすると、
しっかりとあてることができます。

- ペンの中央部を強くつまないでください。
針が戻らなくなるおそれがあります。

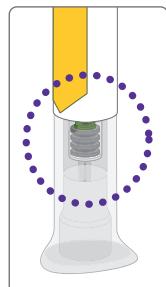
が不要で、すぐに使うことができます。

3 注入ボタンをおす。



- アテオスを皮膚にしっかりとあてたまま、緑色の注入ボタンを押し切れます。
- 1度目の**カチッ**という音がして、薬液の注入が始まります。
- そのまま待つと、2度目の**カチッ**という音がします。これが薬液の注入が終わつた合図です。

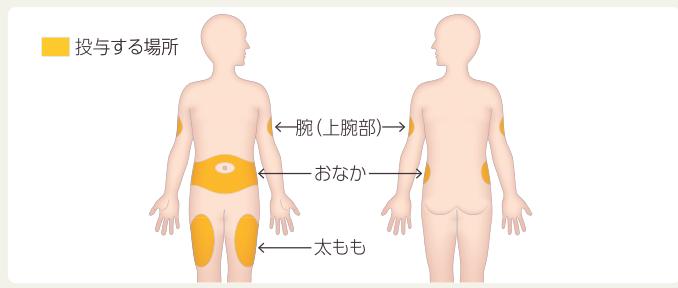
! **カチッ**という音が聞こえなかったときは、透明な部分に灰色のゴムピストンがあらわれたことで薬液の注入完了を確認できます。
薬液の注入は、遅くとも10秒以内に完了します。



- アテオスを皮膚から離します。
これで終了です。

投与する場所

- 自分で投与する場合はお腹か太ももに、どなたかに投与してもらう場合は腕(上腕部)でも構いません。
- 毎回、全く同じ場所に投与しないようにしましょう。
少しづらした場所に投与してください。



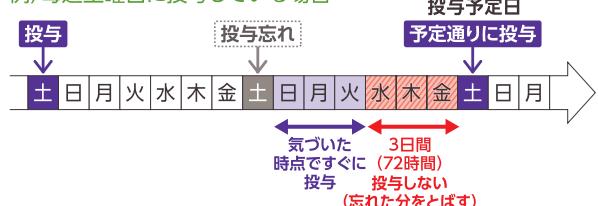
消毒

- 投与する場所を消毒用アルコール綿で消毒してから投与してください。

投与を忘れたとき

- 次の投与日まで3日(72時間)以上ある場合は、すぐに投与してください。その後は、あらかじめ定めた曜日に投与します。
- 次の投与日まで3日(72時間)未満の場合は、忘れた分をとばして、次のあらかじめ定めた曜日に投与してください。

例) 毎週土曜日に投与している場合



保管と取扱い方法

- アテオスは一部にガラスが使われているので、ていねいに扱ってください。硬い床や地面に落としたときはそれを使用せず、新しいアテオスをご使用ください。
- 冷蔵庫(2~8°C)に保管してください。
- 冷蔵庫が使用できない場合、室温(1~30°C)で14日間まで保管できます。
- 凍結させないでください。もし凍結した場合は、使用しないでください。
- 高温や直射日光を避けて保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

廃棄方法

- 使用済みのアテオスは、主治医の指示に従って廃棄してください。
- アテオスは安全性を考えて、使用後に針が自動的に本体内に戻るように設計されていますが、廃棄の際は、針が露出していないことを確認してください。
- 針に触れる可能性がありますので、使用後底面から本体の中に指が入らないようご注意ください。



トルリシティの効果

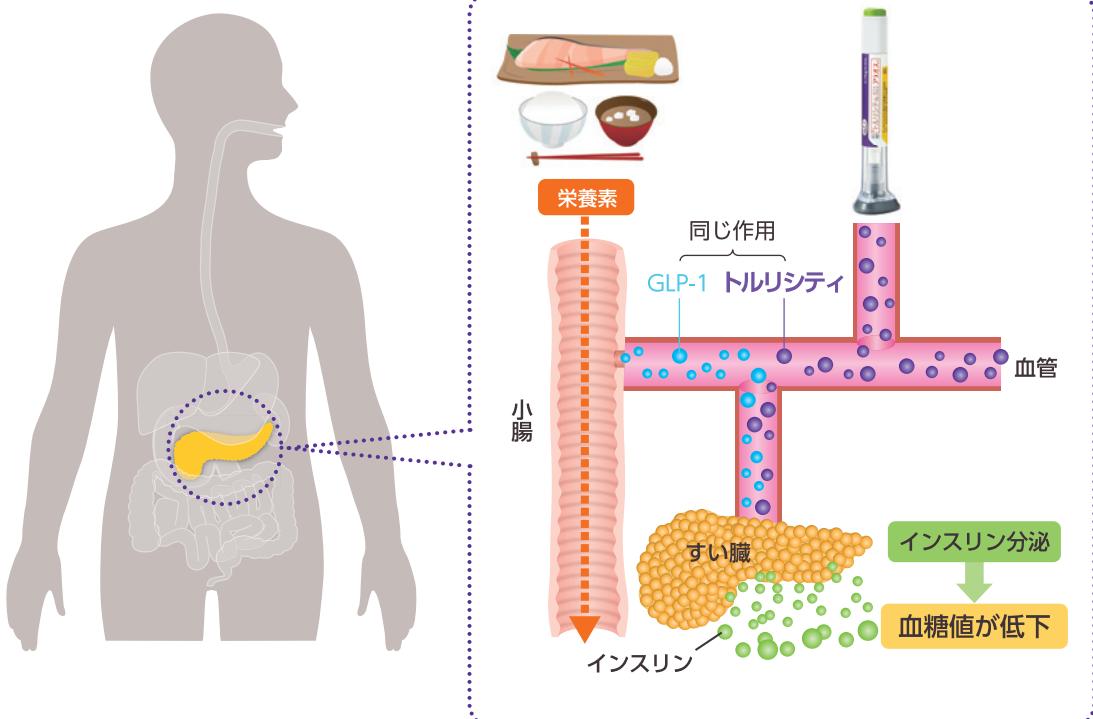
トルリシティは、**GLP-1**（ジーエルピーワン）とよばれるホルモンと同じ作用をもつ薬剤です。

GLP-1 の作用

- GLP-1は食事をとったときに小腸から分泌され、血液を通って、すい臓に運ばれます。
- すい臓はインスリンをつくっている臓器です。GLP-1がすい臓に働くと、インスリンの分泌が増加します。
- インスリンが分泌されると、血糖値が下がります。
- GLP-1の作用によって、すい臓からインスリンが出されるのは、血糖値が高いときだけです。



トルリシティも、GLP-1と同じように、
血糖値が高いときだけインスリンを出すように働きかけ、
2型糖尿病患者さんの血糖値を下げてくれます。





トルリシティの主な副作用

低血糖

- 低血糖は、血糖値が正常値の範囲を超えて下がりすぎた状態です。
- 次のような症状があらわれたときは、すぐに糖分をとってください。

冷や汗	頭痛	意識を失う
動悸	目のかすみ	異常な行動
脈が速くなる	空腹感	けいれん
手足のふるえ	眠気(生あくび)	
顔面蒼白	昏睡	

糖分のとり方

- ブドウ糖(10g)
- ブドウ糖を含む飲み物(150～200mL)：ジュース、清涼飲料水など
- 砂糖(20g)：角砂糖など

- 高所での作業をしているときや自動車の運転中に低血糖が起きたときは、すぐに作業・運転をやめて、低血糖の対処をしましょう。
- 低血糖をくりかえさないようにするため、低血糖が起きたことを必ず主治医にお伝えください。

胃腸の症状

- 吐き気、下痢、便秘などの胃腸症状があらわれることがあります。トルリシティを使い始めたときにあらわれやすいですが、多くの場合、その後改善します。
- 症状があらわれたときは自分の判断でトルリシティの投与を中止せず、主治医に相談してください。
- 吐き気があるときは、揚げ物など脂肪の多い食品は避け、食事の量を減らしましょう。また、満腹感を感じたらそれ以上食べるのをやめましょう。

シックデイについて

発熱や下痢、吐き気などがあったり、食欲がなくて食事ができないときを「シックデイ」といいます。シックデイは血糖値がみだれやすくなり、急性の合併症が起きことがあります。トルリシティによる治療を行っているときにシックデイとなった場合は、主治医に連絡して指示を受けましょう。



糖尿病患者さんのための情報サイト:Lilly Diabetes

www.diabetes.co.jp

スマートフォンでも



Diabetes.co.jp

検索



このサイトでは、
トルリシティ®皮下注0.75mgアテオス®の使い方を
動画でもご紹介しています

トップページから、
「弊社製品をお使いの皆さまへ」→「トルリシティ®皮下注0.75mgアテオス®の使い方」の
順にお進みください。

●ご質問等は、主治医にご相談いただくか、
下記までお問合せください。

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5

Lilly Answers リリーアンサーズ

TEL 0120-245-970 ※1

受付時間：月曜日～金曜日8:45～17:30 ※2

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-6-8

くすり情報センター

TEL 0120-885-736 ※1

受付時間：月曜日～金曜日9:00～17:30 ※2

時間外お問合せ窓口：注入器に関するお問合せのみ受付

TEL 0120-245-970 ※1

受付時間：平日17:30～22:00、土曜日・祝祭日8:45～22:00
(日曜日は受け付けておりません)

※1 通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

※2 祝祭日および当社休日を除きます。

TLC-007-2-1707/16C009
〔2017年7月作成〕SWM 75 SIN

TLC-P005 (R3)
2017年7月作成